

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時 2015 年 12 月 9 日 (水)

場 所 城陽市福祉センター 2 階

出席者：(株) ナプラス (1 名)、あんびしゃ(2 名)、あつぷ(1 名)、魁(1 名)、城陽作業所(1 名)、野の花(1 名)、みんななかま(2 名)、福祉課(1 名)、自立支援協議会事務局(1 名) (参加者数：11 名)

欠席者：庭一造園(1 名)、宇治支援学校(1 名)、就労促進授産支援ネットワーク (1 名)、はびねず (1 名)

検討課題

1. インターンシップ受け入れ企業獲得のための案内パンフレット作成の提案、
2. インターンシップ状況及び情報提供、
3. 各事業所の就労の取り組み発表、
4. その他 (他の障がい者自立支援協議会状況、情勢の共有、連絡事項)

【議事録】

1. インターンシップ受け入れ企業獲得のための案内パンフレット作成の提案 (参考資料：はあとウォームカンパニー パンフレット)

\* はあとウォームカンパニーの登録企業は、障がい者雇用をしているというだけではなく、障がい実態に配慮していることも判断基準となっている。城陽市では友愛ホームが認定されている企業。

\* インターンシップ受け入れ企業の獲得のための案内パンフレットを作成し、実施できる企業を探っていく。また、山城北圏域就労部会が取り組んでいるはあとウォームカンパニーの登録企業への繋がりもつくっていく、実施企業を広げていきたい。

\* 城陽市内に在る 6 店舗のファミリーマートのオーナーの方が、実習に取り組んでみたいという話がある。

\* 宇治支援学校のパンフレットを参考にしてはどうか。事故対応の保険等も書かれている。有事の際の対応は企業も心配されることから参考になると思う。

\* パンフレット作成を進めていくことを確認。叩き台を作成し次回の会議に提案、次年度配布を目指す。作成にあたっては、作成委員会のような機関の設置も考えているので、部会参加の皆さんの協力をお願いしたい。特にナプラスにはインターンシップにも取り組んでいただいたので、ご協力お願いします。

2. インターンシップ状況及び、情報提供

\* ナプラスさんより報告、前回のインターンシップでやってもらった仕事の作業量が減っている。新工場建設にともなってビンの仕分け作業の本格稼働は、来年(2016 年)の夏以降になる予定。従って、インターンシップ受け入れもその時期になると考えている。

\* メインの仕事ではなく補助的な仕事(シュレッダー、ゴミ回収と整理等)で企業の方が助かるものはないか。

\* 社内(ナプラス)で、そのような仕事はあると思うが、把握できていないため、確認をとってみる。メインとなる仕分け作業でもインターンシップで関わっていただくのは、隙間の仕事になると考えている。

3. 各事業所の就労の取り組み発表 (あんびしゃ就労支援 報告)

\* 企業就労を希望される方に対しての、職員側の見極めが難しい。

\* 精神障がいの方は波があるので、就労意欲をどう保つかが難しい。就職したいが、実力が無いと感じる方には、事業所で自信をつけてもらう取り組みをしている。

\* 卒業後の「働く」ということは何かを考えることが重要。座学で就労へのピラミッドをきちんと押さえていくことが基本と考える。

\* インターンシップでの自信が付いて合同就職フェアに参加した。しかし不採用だったので、本人とはこれからの取り組みについて話していきたい。職員側のスキルも上げていく必要があると感じた。

\* 企業側の立場で、不採用の理由を教えるということは可能か。

\* 自社(ナプラス)では、基本的に不採用の理由を伝えることはない。

\* ハローワークを通しての企業面接等だったら、不採用理由をハローワークに聞くことが可能。

\* 企業面接に、家族がついていくとマイナスの場合がある。支援者が付いていく際はできるだけ本人に話してもらい、職員は

フォローに徹することが重要。

4. その他（他の障がい者自立支援協議会状況、情勢の共有、連絡事項）

\*インターンシップを城陽市に依頼できないか、スキマの仕事が色々あるのではないか。宇治市役所では、今年から知的障がいの方を雇用されていると聞いているので、確認をしたらどうか。

\*部会より、確認する。

次回開催日：2016年2月10日